

第160回 (平成22年度第9回) 理事会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成23年3月9日(水) 19:00~20:55
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館4階第1研修室(横浜市神奈川区沢渡4-2)
3. 出席理事： (副会長) 山田 力、片 忠夫
(専務理事) 上田 英之
(常務理事) 清水 忠、木村 徳善、徳本 進、吉岡 去私
(理事) 金子 理人、国島みどり、青木 文明、本田 衛義、高柴 一彦、
小池 光、佐々木生道、森本 珠水、黒川 正孝、伊藤 敏光、
大澤 康之、和田 幸一、吉野 大成
欠席理事： (会 長) 河野 太郎
(副会長) 佐藤 嘉彦
(理事) 岡田 良平、中村 浩人
4. 出席監事： 内海 雄三、井上 敏郎
5. 議長選出： 上田 英之専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 小池 光理事、吉野 大成理事を選出
7. 書 記： 守谷 紀幸広報委員を指名
8. 議 事

議事に先立って山田副会長から次のとおり開会の挨拶があった。

現在スキーシーズン真っ盛りであり、様々な行事がこれからも予定されています。皆さんも力を合わせてこれらの行事を開催できるよう、協力をお願いします。

1) 教育本部

(1) 報告事項

木村教育本部長から次の事項について別添資料のとり報告があり、了承された。

【SAK関係】

- ①五竜行事2月11日(金)~12日(土) 白馬五竜スキー場、参加者105名
- ②戸隠行事2月11日(金)~12日(土) 戸隠スキー場、参加者36名
- ③SB強化行事2月19日(土)~20日(日) ホワイトワールド尾瀬岩鞍、参加者7名
- ④車山Ⅲ行事2月26日(土)~27日(日) 車山高原スキー場、参加者95名
SB準指導員・認定SB指導員検定会、受検者7名、合格5名
- ⑤車山Ⅳ行事3月5日(土)~6日(日) 車山高原スキー場
受検者：準指導員80名、認定指導員30名、BC級検定員40名、合計150名
合格者：準指導員35名、認定指導員27名(プラス1名)、BC級検定員35名

【SAJ南関東ブロック関係】

- ⑥正指導員検定会・A級公認検定員検定会2月18日(金)~20日(日) 第3会場(新赤倉)
第5会場(大山)
公認スキーパトロール研修会及び検定会3月5日(金)~7日(日) 平湯温泉スキー場
検定会：朴の木平スキー場

【今後の行事予定】

SAK関係

- 3/19～20 五竜行事（環富士山技術選手権）
- 3/26～27 車山V行事
- 3/26～27 岩鞍行事
- SAJ南関東ブロック関係
 - 3/8～12 全日本スキー技術選手権大会（八方尾根）
 - 3/26～27 南関東シニアスキー技術選手権大会（菅平）
 - 3/16～20 全日本スノーボード技術選手権大会（ルスツリゾート）
 - 4/1～3、4/7～9 公認パトロール研修会（ルスツリゾート）
 - 4/2～9 国際スキーパトロール連盟総会（ルスツリゾート）

(2) 審議事項

①環富士山スキー技術選手権大会について

木村本部長より、派遣役員について、スキーは佐藤副会長、木村本部長、佐々木理事、SBIは久保田専門委員を暫定候補として提案するが、参加人員の減少により削減の余地があるとの提案があり、暫定的な候補として承認された。

②全日本パトロール技術競技大会派遣選手について

木村本部長より、1チーム出場予定。参加者は別添第25回スキーパトロール技術競技大会選手団名簿（案）のとおり提案がなされ、承認された。

③南関東シニアスキー技術選手権大会役員派遣について

木村本部長より、柳橋SAJブロック技術員を審判員として派遣したいとの提案がなされ、承認された。

2) 競技本部

(1) 報告事項

吉岡競技本部長より、次の事項について報告があり、了承された。

①第66回鹿角国体神奈川県選手結果

別添資料裏面のとおり。天皇杯 18位、皇后杯 17位

②第62回神奈川県市町村対抗スキー競技会

3月4日～6日 白馬五竜スキー場 派遣役員10名 参加者226名

上田専務理事：参加団体は12市1町、不参加は小田原市、大和市、座間市、綾瀬市、葉山町。

エントリー数100名減。行政の支援による、県総合体育大会が中止になったことは残念であり、復活について署名運動を行うという意見もあり、今後働きかけも検討したい。事前に行政関係者へ案内状を送ってはとの提案があったが、果たせなかったため、事後報告をきちんとした形で行いたいと考えている。

参加資格について在住要件を在協会へ緩和したらという意見もあった。事実上の協会対抗となっているので、要検討事項としたい。11月の拡大代表者会議でも、現地の代表者会議でも、そのような意見があった。

山田副会長：県連として今回の形を良しとしたのだから、次回に形を変えるのはよろしくない。

2・3年やってみて、様子を見て変えていくことが望ましい。関係機関にも協力要請が必要。年齢枠ももっと上の枠の設定など意見を聞いて工夫していくことが必要。

河野会長が大会会場に来訪したことを報告する。4日に到着し、開会式、懇親会に参加し、翌朝7：30から滑って、レースを少し観戦してから帰った。

片副会長：不参加団体の理由などを調査する必要がある。

上田：アンケートを取る予定。代表者会議で用紙を配ったが、回収できていない状況である。

井上監事：参加した協会でも、参加費の全額負担や一部を補助する団体もあり、成績に差がつくので、調査する必要がある。

吉岡：現地代表者会議にて配布したアンケートにその項目は盛り込んである。

片：川崎の選手で、回転競技の2本目で転倒し、途中棄権をした選手が帰ってから検査した結果あばら骨を骨折していたことを事後報告する。本人は自己責任なので、自分の保険で治療すると言っていることを併せて報告する。

- ③第69回神奈川県スキー選手権（技術系種目）兼第12回神奈川県ジュニアスキー大会第2戦
3月11日～13日 上越国際スキー場 派遣役員10名 参加者336名（予定）
- ④第9回チャレンジCUP第2戦 鹿沢大会兼第12回クラブ対抗アルペン競技会
4月1日～3日 鹿沢スノーエリア 派遣役員11名 参加選手募集中
- ⑤SBジュニア世界選手権大会日本代表選手
本多 未沙（スノーヴァ溝ノロ R-246）

(2) 審議事項

なし

3) 総務本部

(1) 報告事項

①慶弔関係 なし

②資金運用状況

金子理事から、別添資料のとおり報告があり、昨年比700万円減となっているが原因としては賛助会費などが未納となっている等があるが、精査したいとのことで、了承された。

③登録状況

本田理事から、別添資料のとおり報告があり、上田専務理事から、会員減が止まったと思われる数値であり、各理事も会員登録増について、今一度努力されたいとの要請があり、了承された。

金子理事より、SAJから今年度未登録の昨年度登録会員・指導員のリストが届いた。その内容を各協会に連絡したいとの報告があり、了承された。

山田副会長から、団体登録が昨年比で10クラブ少ないとの指摘があり、本田理事から未登録となっているクラブがあり、現在連絡中との報告があった。

片副会長から、会員総数の回復は、喜ばしい状況であり、優良なクラブにはお礼を言いたい。

④各種委員会

イ) 電子申込委員会

金子理事から、前回から更に競技本部で1件不具合が発生したが、解決した。ともかく今回の一連の不具合について報告書を作成させているので、理事会でそれを見て判断を仰ぎたいとの報告があった。

ロ) HC委員会

国島理事から、五竜行事に向け、3月8日に委員会開催、15日作業部会開催予定との報告があり、了承された。

ハ) 普及振興委員会

青木理事から、別添資料のとおり2/18～20のジュニア雪とふれあい行事で、参加児童の受傷事故があったが、問題なく推移しているとの報告があり、了承された。

ニ) 広報委員会

青木理事から、3月23日広報委員会開催予定の報告があり、了承された。

⑤その他

次の事項について、徳本総務本部長から報告があり、了承された。

イ) 県体協の新評議員「SAK山田力副会長」推薦書提出

ロ) 県体協への寄稿文提出

ハ) 規約・規程委員会 3月16日開催予定

二) 平成23～24年度評議員推薦依頼を3月中旬発送予定

ホ) 第24回春季評議員会資料作成日程 別紙配布参照

上田専務理事から、第161回理事会の後、次年度予算のガイドラインを提示する。それに沿って予算計上されたい旨の発言があり、片副会長から、専務理事が執行方針を定めるには、おおむねの前年度決算数字が必要なので、各事業担当は速やかに事業報告を提出されたいとの発言があり、了承された。

ヘ) 1984年テクニカルプライズ合格者の合格証発行の件 「阿部一三氏」

金子理事から、SAKだより等に記録がない。当時のクラブ代表者の吉岡氏に確認したところ、「前年に準指トップで合格した方で、間違いはない。」との回答があったとの報告があり、片副会長から、27年前に、確かにそういう人がいたとの発言があり、発行する方向で了承された。

ト) 本年度協賛会員について

本田理事から、現在会費未納の会員に対して、会費納入請求書を発送したとの報告があった。

チ) 指導員資格の復活申請について

片副会長から、鎌倉スキー協会に所属していた人からの指導員資格復活請求があったが、外国に行っていて不在の期間について、5年分の研修会費を納入することを条件として提示したが、折り合いがつかない状況にあるとの報告があり、金子理事から先日、鎌倉スキー協会の水島氏及び登録担当者に研修会費納入の件につき2月上旬に書面を送ったとの発言があり、研修会費の納入がなければ、資格復活は行わない報告で了承された。

本件に対して、木村教育本部長から、都連との話し合いで5回分の研修会費の納入で復活させるとの基本ルールがある。上田専務理事から、神奈川は研修会費が前納になっているので、5回分を払い込まなければいけないということになる。払わないで復活できれば、誰も研修会費納付しない。5年というのも救済制度という意味合いである等の発言があった。

(2) 審議事項

①新公益法人移行の税理士事務所選定について

上田専務理事より、別添資料裏面の「新公益法人移行の税理士事務所選定比較表」に基づき、常務会での選考経過を報告、提案がなされ、以下の発言の後、承認された。

上田：移行と会計処理は分離して考える。

山田副会長：常務会で各事務所のプレゼンを見た。総合的に朝日が良かったという判断だ。

片副会長：朝日が最も説得力があり、パワーを感じた。横浜に所在することも今後の資料作成等を考えると有利。経験も豊かだ。

井上監事：申請窓口の県も詳細は分かっていない。多くの経験のある法人がよい。

山田：移行期間は圧倒的に朝日税理士法人が早い。

②指導員資格停止解除申請規程の制定について

金子理事より、別添「指導員資格停止解除規程(案)」及び裏面「公認スキー指導員資格停止解除規程対象者 ケーススタディ」のとおり説明、提案がなされ、次の意見を付して承認された。

片副会長：判断に迷うケースについては理事会において決定するという条文を設ける必要がある。

上田専務理事：資格喪失は、SAJの理事会での承認事項なので、事実上、2年以上の資格停止の継続が資格喪失となっている。

森本理事：検定員についても同じことが言える。研修期間が空いているケースは、来年も継続して研修受講を推奨して、救済措置としている。

片：スノーボードは、どうか。

小池理事：ボードの復活要請、今まで例がない。

上田：検定員及びスノーボード指導員も資格停止解除規程の対象としたい。

③賛助会員規程の制定について

金子理事より、別添「賛助会員規程(案)」のとおり提案がなされ、承認された。

④協賛会員規程の改訂について

金子理事より、別添「協賛会員規程」改定比較表のとおり提案がなされ、改訂案4条と5条を入れ換え、4条の「、別表とし」を削除、5条の「〇〇株式会社」を「協賛会員」に改めた上で承認された。

⑤専門委員の追加承認について

金子理事より、規約規程委員に「鎌田 芳明」(川崎)追加したいとの提案があり、承認された。

(3) その他

①来年度のスキー技術選会場変更(戸隠)について

清水常務理事より、別添資料のとおり、戸隠スキー場関係者との折衝実施について説明及び提案があり、以下の質疑の後、戸隠スキー場を選択肢の第1候補として、県スキー技術選手権の会場を変更することについて承認され、会場及び日程について更に検討を進めることとした。

- ・上田専務理事：常務会で会場変更については了承を得ている。会場の有力候補地として戸隠スキー場が挙げられているということ。
- ・片副会長：会場変更の決定を理事会でしないと、今後会場選考等で動けない。相手先として戸隠は受け入れ可能との感触を得ている。また、これから詰めていくことは多いが、車山もただ行事開催を無くしてしまうのは失礼なので、代表、副代表、パトロールには仮に了承を頂いてきた。今後、会長を同伴して挨拶をする意向だ。アンケートの結果や事故が多発した経緯もある。
- ・木村教育本部長：第1候補は戸隠で決定をしてほしい。千葉県連もそれで検討を開始している。
- ・吉野理事：会場変更はいいが、日程的に1月第3週は国体の県予選会とぶつかっている。日本協の推薦システムが複雑で、これ以上予選会の日程を後ろへずらすことはできない。有力選手はかなり双方でダブっているので、配慮が必要だと思う。
- ・木村：教育も同じ意見だ。
- ・片：協賛金の詰めもある。会場変更は承認されたが、神奈川県連が車山から全て撤退するという噂が流れており、技術選だけの変更だと説明しなければいけない。
- ・森本理事：戸隠の松野氏は、戸隠の宿舍会の役員も務めているので、日程の意見は宿舍会の意向も含んでいると思う。
- ・木村：競技本部の意見も取り入れて、部会で協議したい。市町村対抗と準指検定会の日程も含め検討したい。
- ・山田副会長：移るにしても、良好な関係を保っていかなければいけない。

2) 監事意見

内海監事から、3月23日(水)にプレ監査を行うので、忙しい時期だが事業報告書、預金通帳等を監査するので、必ず精算を済まして提出してほしいとの発言があった。

議事の最後に片副会長から盛りだくさんの内容だったが、時間内に議事終了できました。円滑な議事運営に協力頂きありがとうございましたとの閉会の挨拶があった。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成23年 3月 23日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印